



校長室だより

令和6年度

5月29日

NO.12

元気いっぱい、力いっぱい、笑顔いっぱいの大運動会



全校演技「はだなし『唱』タイム」



縦割り対抗玉入



上学年リレー



下学年徒競走



綱引き

雲一つない青空、さわやかな夏風、学区や保護者の方からの声援や拍手…すべてが今年の運動会の舞台を盛り上げてくれてます。社教委員会や体育振興会の方々には計画から準備とご支援いただき、子供たちも、これまでリレーに玉入れに、踊りに、できるようになるまで練習をしてきました。大運動会本番は、ドラマでいえば最終回のようなもの。そこには当然、総代会長さんも言われたように「運動会の好きな子も、そうでない子」もいますが、今回の運動会では一人一人が思いをもって臨み、それぞれの場で、全力で、元気に、笑顔で、運動会をやり切りました。まさに開会式で佑紳君が宣誓した「運動会が終わってみんながやり切ったと笑顔で言える」そんな運動会になったと思います。

小学校四年生の国語の教科書に「走れ」という運動会を題材にした教材があります。お母さんはお弁当屋で働いていていつも運動会の日には遅れてしまう。足の速い弟けんじは母にその姿を見てほしいけれど…そんな中で、運動会の嫌いな姉のぶよは、家族の狭間で思い悩む。けれど、母の思いを知り、弟の応援を受け、最後まで気持ちよく走る切るのでよ。運動会を通して深まる家族の思いを描いた作品です。秦梨つ子も苦手なものに悩んで取り組んだり、仲間との協力を実感したり、どこか痛かったり、家や学校で思うようにいかなかったりするなど、それぞれのドラマがそこにはあったことでしょう。けれど、それを乗り越えてきたからこそ、そこには一人一人の成長と充実感があつたと言えます。

来賓の方より、「笑顔がすてきだった」という声を頂きました。最後の全校ダンスも係の仕事も、そして応援する姿も、人にやらされて行うのではなく、いやいやではなく、自分から進んで楽しく行動する姿は立派でした。それが周りに広がり、学区も一つになり全員が楽しく元気になった、そんな運動会だったと感じました。

〈台風等荒天時における児童の登下校について〉

・「特別警報」「暴風警報」の発令に関して、昨年度と変更があります。これまで、警報解除2時間後、再開でしたのが、本年度より11時まで解除した場合は午後1時から再開、11時以降の解除は休校となりました。詳細につきましては、お配りしたプリント及び学校HP「災害時の安全対応」でご確認ください。